

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成26年7月15日
【四半期会計期間】	第26期第1四半期（自平成26年3月1日至平成26年5月31日）
【会社名】	株式会社エスケイジャパン
【英訳名】	SK JAPAN CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 八百 博徳
【本店の所在の場所】	大阪市中央区上町一丁目4番8号
【電話番号】	06(6765)0670
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 野崎 伸一
【最寄りの連絡場所】	大阪市中央区上町一丁目4番8号
【電話番号】	06(6765)0670
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 野崎 伸一
【縦覧に供する場所】	株式会社エスケイジャパン東京営業所 （東京都台東区寿三丁目14番13号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

（注）上記の東京営業所は、未登記につき法定の縦覧場所ではありませんが、投資者の便宜を考慮して縦覧に供する場所としております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第25期 第1四半期連結 累計期間	第26期 第1四半期連結 累計期間	第25期
会計期間	自平成25年 3月1日 至平成25年 5月31日	自平成26年 3月1日 至平成26年 5月31日	自平成25年 3月1日 至平成26年 2月28日
売上高 (千円)	1,561,148	1,860,227	7,020,993
経常利益又は経常損失 () (千円)	53,672	15,244	165,558
四半期純利益又は四半期(当期) 純損失 () (千円)	58,631	19,582	178,845
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	57,618	21,606	179,202
純資産額 (千円)	1,919,553	1,735,216	1,740,449
総資産額 (千円)	3,713,029	3,941,462	3,464,310
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期(当期)純損失 金額 (円)	7.13	2.38	21.74
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	2.38	-
自己資本比率 (%)	50.9	43.5	49.6

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含んでいません。

3. 第25期第1四半期連結累計期間及び第25期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期(当期)純損失金額であるため、記載していません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間の業績は、1,860百万円（前年同期比19.2%増）、営業利益は17百万円（前年同期は60百万円の営業損失）、経常利益は15百万円（前年同期は53百万円の経常損失）、四半期純利益は19百万円（前年同期は58百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

<キャラクターエンタテインメント事業>

アミューズメント部門におきましては、キャラクター契約をこれまで以上にスピードアップするとともに、ヒットキャラクター契約の有無のみに業績が左右されない安定的・持続的な成長が可能な基盤づくりのため、商品企画力、営業力の強化を進めております。商品面では、前期に前評判が非常に高かったにもかかわらず商品化が遅れていた「ted」や、前期より引き続き好調な「おさるのジョージ」等が寄与し、売上高は975百万円（前年同期比38.0%増）となりました。

S P（セールスプロモーション）部門におきましては、製菓業界を中心とした販売促進商品が好調であったことにより、売上高は213百万円（前年同期比25.6%増）となりました。

利益面では、売上高の増加ならびに利益率の改善、固定費の圧縮により、営業利益となりました。

以上の結果、売上高は1,188百万円（前年同期比35.6%増）、営業利益は2百万円（前年同期は81百万円の営業損失）となりました。

<キャラクター・ファンシー事業>

当事業におきましては、ゆるキャラの販売に注力した結果、チェーン店や観光物産向けの売上が大幅に増加しましたが、前年のスマートフォン向けアプリケーション等のゲームキャラクターを補うことが出来ず、大手得意先を中心に前年を下回る結果となりました。

以上の結果、売上高は671百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は3百万円（前年同期比69.6%減）となりました。

(2)財政状態

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ477百万円増加し、3,941百万円となりました。これは主に、保険積立金(投資その他の資産「その他」)の減少額が86百万円あったことにより一部相殺されたものの、現金及び預金の増加額207百万円及び受取手形及び売掛金の増加額275百万円によるものであります。負債は、前連結会計年度末に比べ482百万円増加し、2,206百万円となりました。これは主に、買掛金の増加額401百万円及び未払金(流動負債「その他」)の増加額64百万円によるものであります。純資産は、前連結会計年度末に比べ5百万円減少し、1,735百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少額5百万円によるものであります。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4)研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,381,000
計	12,381,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年5月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年7月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,363,103	8,363,103	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	8,363,103	8,363,103	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成26年7月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年3月1日 ~ 平成26年5月31日	-	8,363,103	-	441,550	-	472,489

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年2月28日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 134,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,184,800	81,848	-
単元未満株式	普通株式 44,303	-	-
発行済株式総数	8,363,103	-	-
総株主の議決権	-	81,848	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が900株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権に係る議決権の数9個が含まれております。

【自己株式等】

平成26年5月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社エスケイジャパン	大阪市中央区上町一丁目4番8号	134,000	-	134,000	1.60
計	-	134,000	-	134,000	1.60

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成26年3月1日から平成26年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	642,454	849,551
受取手形及び売掛金	898,332	1,174,281
電子記録債権	96,658	81,937
商品	374,734	445,581
繰延税金資産	3,922	2,678
その他	85,156	114,143
貸倒引当金	4,481	6,860
流動資産合計	2,096,777	2,661,315
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	516,195	516,195
減価償却累計額	177,906	181,550
建物及び構築物(純額)	338,288	334,644
車両運搬具	11,858	11,858
減価償却累計額	10,401	10,618
車両運搬具(純額)	1,457	1,239
その他	102,607	104,061
減価償却累計額	79,799	83,973
その他(純額)	22,808	20,087
土地	539,494	539,494
有形固定資産合計	902,048	895,466
無形固定資産	116,513	124,352
投資その他の資産		
投資有価証券	59,779	57,327
繰延税金資産	1,446	1,966
その他	295,655	215,390
貸倒引当金	7,910	14,355
投資その他の資産合計	348,971	260,328
固定資産合計	1,367,533	1,280,147
資産合計	3,464,310	3,941,462

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	483,667	885,500
短期借入金	920,000	920,000
未払法人税等	1,206	753
繰延税金負債	511	503
賞与引当金	30,169	30,170
その他	136,033	253,171
流動負債合計	1,571,589	2,090,098
固定負債		
繰延税金負債	7,657	6,972
役員退職慰労引当金	144,396	108,957
長期預り保証金	218	218
固定負債合計	152,271	116,147
負債合計	1,723,861	2,206,246
純資産の部		
株主資本		
資本金	441,550	441,550
資本剰余金	472,489	472,489
利益剰余金	846,447	841,343
自己株式	51,244	51,265
株主資本合計	1,709,243	1,704,118
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,312	13,491
繰延ヘッジ損益	2,827	7
為替換算調整勘定	1,974	1,949
その他の包括利益累計額合計	9,510	11,534
新株予約権	21,694	19,563
純資産合計	1,740,449	1,735,216
負債純資産合計	3,464,310	3,941,462

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	1,561,148	1,860,227
売上原価	1,152,985	1,388,065
売上総利益	408,162	472,162
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	161,638	163,565
賞与引当金繰入額	29,087	0
退職給付費用	8,128	10,248
役員退職慰労引当金繰入額	1,795	1,795
貸倒引当金繰入額	400	8,824
その他	268,910	270,566
販売費及び一般管理費合計	469,159	455,001
営業利益又は営業損失()	60,996	17,161
営業外収益		
受取利息	28	30
受取配当金	356	314
投資有価証券評価損戻入益	2,876	-
受取家賃	1,409	1,409
為替差益	2,926	-
賃貸収入	609	1,412
その他	431	1,024
営業外収益合計	8,637	4,190
営業外費用		
支払利息	1,279	1,857
投資有価証券評価損	-	1,676
為替差損	-	765
賃貸原価	-	1,805
その他	34	2
営業外費用合計	1,314	6,106
経常利益又は経常損失()	53,672	15,244
特別利益		
新株予約権戻入益	652	1,885
保険返戻金	-	3,743
特別利益合計	652	5,628
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	53,020	20,872
法人税、住民税及び事業税	8,491	557
法人税等調整額	2,879	732
法人税等合計	5,611	1,290
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	58,631	19,582
四半期純利益又は四半期純損失()	58,631	19,582

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	58,631	19,582
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	787	820
繰延ヘッジ損益	272	2,820
為替換算調整勘定	46	24
その他の包括利益合計	1,013	2,024
四半期包括利益	57,618	21,606
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	57,618	21,606
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

当社及び連結子会社(株サンエス)においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行5行と当座貸越契約を締結しております。これら契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
当座貸越極度額	1,950,000千円	1,950,000千円
借入実行残高	920,000	920,000
差引額	1,030,000	1,030,000

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
減価償却費	11,032千円	15,633千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月18日 定時株主総会	普通株式	49,351	6	平成25年2月28日	平成25年5月20日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月24日 定時株主総会	普通株式	24,687	3	平成26年2月28日	平成26年5月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	876,773	684,374	1,561,148	-	1,561,148
セグメント間の 内部売上高又は振替高	31,227	16,022	47,250	(47,250)	-
計	908,001	700,397	1,608,398	(47,250)	1,561,148
セグメント利益 又は損失()	81,230	12,932	68,297	7,301	60,996

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額7,301千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,188,964	671,262	1,860,227	-	1,860,227
セグメント間の 内部売上高又は振替高	33,216	7,902	41,119	(41,119)	-
計	1,222,181	679,165	1,901,346	(41,119)	1,860,227
セグメント利益	2,616	3,934	6,550	10,610	17,161

(注)1. セグメント利益の調整額10,610千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり 四半期純損失金額()	7円13銭	2円38銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失()(千円)	58,631	19,582
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失 ()(千円)	58,631	19,582
普通株式の期中平均株式数(株)	8,225,191	8,229,061
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	-	2円38銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	-	5,201
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株 式で、前連結会計年度末から重要な変動があったも のの概要	-	-

(注) 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年7月14日

株式会社エスケイジャパン

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 後 藤 紳太郎 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 秦 一二三 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エスケイジャパンの平成26年3月1日から平成27年2月28日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成26年3月1日から平成26年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エスケイジャパン及び連結子会社の平成26年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。